

2008年1月16日

## 民主党2008年度定期大会

### 小沢一郎代表挨拶

—「安定・安心の生活」をつくる—

まず、この民主党大会にご参集、ご来場いただきました皆様に、心より感謝を申し上げます。

特に、ご多用の中、来賓としてご臨席いただき、叱咤激励のお言葉を頂戴しました社会民主党の福島党首、国民新党の綿貫代表、新党日本の田中代表、神奈川県・松沢知事、岩手県・達増知事、経団連の大橋・政治対策委員長、そして連合の高木会長に、民主党を代表して謹んで御礼を申し上げます。

また、お忙しい中、横浜までお出でいただきました、各国大使をはじめとする在日公館の皆様、労働界、経済界、文化諸団体など友好団体の皆様に、厚く御礼を申し上げます。

さて、私たち民主党は昨年、統一地方選挙で躍進したうえ、焦点の参議院選挙において参議院第一党となり、野党で過半数を獲得することができました。それはひとえに、幅広い国民の皆様のご理解とご支援によるものであり、改めて心より感謝を申し上げます。

その時、民主党が国民に約束した「国民の生活が第一」の政策を実行するため、私たちは昨年秋の臨時国会で、参議院に次々に法案を提出して可決し、衆議院に送りました。しかし、衆議院では自民党、公明党が3分の2以上の圧倒的多数を占めていることから、法案の審議すら満足に行われませんでした。

やはり、衆議院でも私たちが過半数をいただき、私たちが自ら政権を担わなければ、国民の生活を立て直すことはできないのであります。それはまた、いわゆる「国会のねじれ」を解消する唯一の方法でもあります。

「絶対的な権力は絶対に腐敗する」という格言の通り、自民党長期政権の下で政治も行政も腐敗し切っております。「消えた年金」問題、薬害肝炎、防衛省汚職などを見れば明らかであります。

一方で今の自公政権では、国民の生活負担が増え、様々な格差が拡大して、国民の不安や不満はすでに限界に達しております。年金、医療、介護も、雇用、教育も、国民の自助努力では、もうどうにもなりません。それだけでなく、国民の不公正感が制度そのものを崩壊させようとしております。

政治を国民の手に取り戻して、社会、国家の仕組みを根本からつくりかえなければ、国民の生活を守っていくことはできません。そのためには、もはや、政権を変える以外に方法がないのであります。

いま、政権を変えないで、いつやるのか。いま政権交代を実現して、「日本の大掃除」をしなければ、国民は救われません。今年こそが、正にその秋(とき)なのであります。何が何でも、今年行われるであろう衆議院総選挙で勝たなければなりません。

そして、政権交代を実現することで、私たちは2つの政治課題を達成するのであります。

1つは、「政治とは生活である」という理念と「国民の生活が第一」の基本方針に基づき、税金のムダづかいをなくして、年金改革、子育て支援、農業再生など

の新しい仕組みをつくり、誰もがどこでも、安定した安心できる生活、「安定・安心の生活」ができるようにすることです。

もう1つは、日本に議会制民主主義を定着させ、国民がいつでも政治を変えることができるようにすることです。政権が国民の生活に目を向けない時は、国民が投票によってそれを変えることができます。それが民主主義です。ところが、日本では60年間も自民党政権が続いています。これでは、民主主義の利点が少しも生かされておられません。

「2008総選挙決戦」によって、その2つを成し遂げることが、私たち民主党の歴史的使命なのだと思います。

もちろん、衆議院の解散権は内閣にあります。したがって、単なる国会対策上の戦術やテクニックで政府・与党を解散に追い込めるわけではありません。

しかし、政治を劇的に変えるカギは、国民が握っているのです。国民が「これ以上黙ってはられない。政治を変えよう」と決意し、選挙で行動を起こせば、民意によって政権を変えることができます。その「民意の表示」こそが、いま求められているのです。選挙で民意を示すことは主権者である国民の務めであると思います。

国民の皆様にご理解いただき、その声を挙げていただくよう、私たちは全力を尽くさなければなりません。それこそが、私たちの当面の最大課題であると思います。

その第一歩が、18日からの通常国会における論戦です。私たち民主党はこの国会を「生活第一・ガソリン値下げ国会」と位置づけて、年金、子育て、農業の再生に加え、道路特定財源をはじめ公共事業の在り方を根本的に改めてい

きます。

特に、原油の高騰に伴い、ガソリンや軽油の値上がりが国民生活を直撃しております。今こそ、民主党は地方の道路整備財源を確保しながら、ガソリン税の暫定税率を廃止します。それにより、ガソリンをリッター当たり25円値下げするとともに、政府・与党の道路利権を打破し、国民生活と地域社会を活性化させるのであります。

私はここで、「総選挙決戦」で政権を変え、2つの政治課題を実現することに、政治生命をかけることを、皆様にお誓い致します。

今度の総選挙は私にとって、政治家として「最後の戦い」であります。同時に、民主党にとっても、日本にとっても、「最終の決戦」であると思います。その意味で、国民の皆様にとっても、「最終の選択」の機会なのであります。

私たち民主党が、本当に全員「火の玉」となり、他の野党の方々とも協力して、政治決戦に勝利することを、国民の皆様にお約束して、私の挨拶と致します。

以上